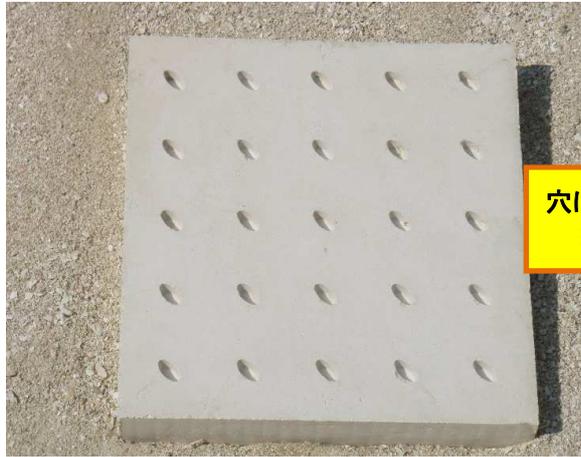


沖縄県独自の特許技術により環境にやさしいヒメジャコの養殖基盤を実現

シャコ貝養殖基盤

沖縄県水産海洋技術センターと沖縄環境開発研究会は、沖縄本島海域をはじめ宮古島、石垣島そして与那国海域で実証実験を重ね、ヒメジャコ専用の養殖基盤を開発し製品化しました。



30x30x t6cm (25穴) 約9kg



収穫サイズは6~7cmです

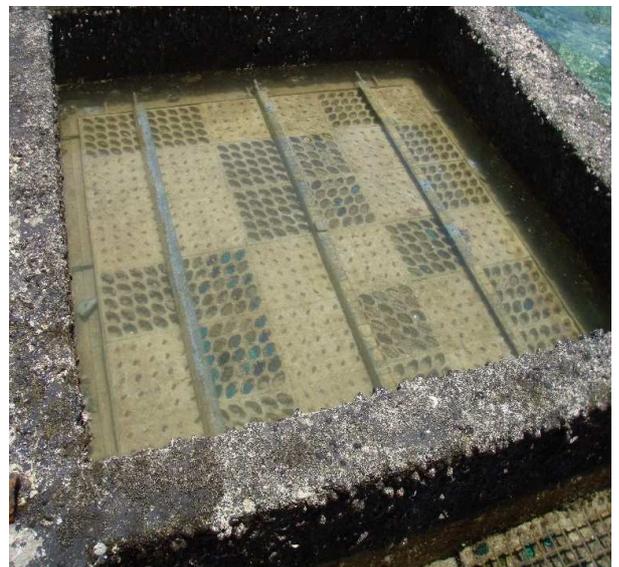
穴に稚貝を入れて
約3年経つと...

【養殖基盤の特徴】

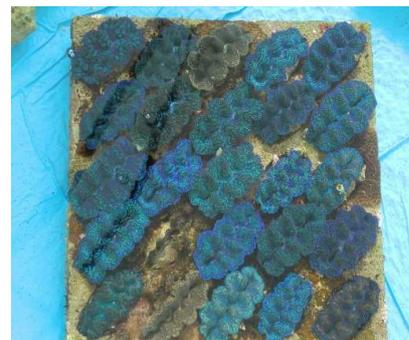
- 沖縄県産天然の砂（琉球石灰岩）使用
- 生物にやさしい海水由来のマグネシウム系固化剤を使用
- 開発・製造・販売まですべて県産品
- 沖縄県との**共同特許製品**【特許番号 4336675号】
- 環境にやさしい材料ですのでサンゴの海を汚しません

【基盤出荷の実績】

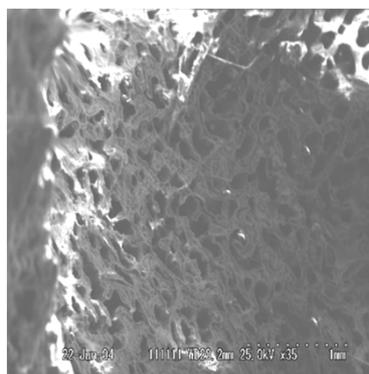
2017年	糸満漁協	270 枚
	渡嘉敷漁協	120 枚
	八重山漁協	40 枚
2016年	糸満漁協	270 枚
2015年	糸満漁協	310 枚
	沖縄県栽培漁業センター	300 枚
	国頭漁協	40 枚
2014年	沖縄県栽培漁協センター	200 枚
2013年	宮古島市海業センター	200 枚
	沖縄県栽培漁協センター	100 枚
	糸満漁協	310 枚
2012年	国頭漁協	400 枚



【シャコ貝 養殖基盤の様子】



【シャコ貝 Q&A 】



Q: ヒメジャコってどうやって大きくなるの？

A: 天然のサンゴにすむヒメジャコは、サンゴを溶かしながらかぶりこんで身を守っています。左の写真はヒメジャコの棲んでいた部分を電子顕微鏡で拡大したところです。

非常に滑らかな表面になっています。

ヒメジャコはヤスリのようにサンゴを削るだけでなく、酸で溶かしながらかぶっていることが分かります。

シャコ貝養殖基盤はヒメジャコの酸で溶ける成分で製造されていますのでより天然サンゴに近い環境で育成することができるのです。

Q: 餌やりはどうするの？

A: ヒメジャコは、サンゴ同様、共生藻の光合成により養分を得ています。

Q: ほおって置いても大丈夫？

A: ヒメジャコには多くの外敵がいます。

魚はもちろん、肉食の貝やカニも敵です。

養殖には防護ネットなどが必要です。

また、砂をかぶったり海藻で日光がさえぎられると死んでしまいます。定期的な手入れは必要です。

Q: 稚貝はどこで入手できますか？

A: 沖縄県の各漁協でお問い合わせください。



企画： 沖縄県・沖縄環境開発研究会 【特許番号4336675号】

製造： 沖縄セメント工業株式会社・株式会社 ミヤコン

販売： 神琉建設株式会社 ・ 株式会社ミヤコン

連絡先： 沖縄セメント工業(株) ソフト製品事業部 ☎ 098 - 895 - 6609(代)

ホームページ： okiceme.co.jp E-mail： cp-info@okiceme.co.jp